

## ■ IDメッセージの編集および位置の設定

Shift キーを押し、次に ID On/Off キーを押し、ID メニューに入り、▲ および ▼ キーを使用して希望のメニュー項目を選択します。

- “Edit ID #”メニュー項目によって ID メッセージを編集したら、Enter キーを押し、それをセーブします。四角のキーのどれかを押すと、編集は中断され、変更はセーブされません。セーブされた ID メッセージだけが本機器の出力に挿入できます。ID メッセージを挿入するには、ID メニューまたは Recall キーを使用してそれをリコールします。必要であれば、ID On/Off キーで ID をオンにします。
- ID メニューの“Position ID”を使用して、現在出力に挿入されている ID メッセージの位置を変えます。メッセージを移動したら、その新しい位置をメモリにセーブするために Enter キーを押します。四角のキーのどれかを押してメニューから抜け出た場合は、そのメッセージは次にリコールされたときに元の位置に戻ります。

## ■ 特別設定

次に示す設定は診断メニューから変更できます。診断メニューに入るには、Lock Out キーを押し、On キーを押します。▲ および ▼ キーを使用してメニュー項目を選択します。

### ビデオ規格 (Format Select)

◀ および ▶ キーを使用して 525 (60 Hz) または 625 (50 Hz) を選択し、Enter キーを押します。

### オート・パワー・ダウン (AUTO POWR DOWN)

オート・パワー・ダウンは 10 分間に渡ってキー入力がない場合に、電源をオフにします。◀ および ▶ キーを使用してイネーブルまたはディスエーブルを選択し、Enter キーを押します。

### バッテリー・タイプ (Battery Type)

ロー・バッテリー警告が誤って発せられたり、早期に機器がシャット・ダウンしたりしないように、使用しているバッテリーのタイプに合った設定をしてください。

◀ および ▶ キーを使用して、ディスポーザブル (アルカリ) バッテリーまたはリチャージャブル (ニッカド) バッテリーを選択し Enter キーを押します。

### LCDコントラスト (LCD Contrast)

◀ および ▶ キーを使用して、コントラストを 10 ~ 100 % の間の見やすい値に設定し、Enter キーを押します。

※ メニューから抜け出るには、四角のキーのどれかを押します。

## ■ テスト信号の選択

本機器のテスト信号は、Test Signal キーを使用して選択できます。また、英数字キーを使用して直接選択することもできます。

テスト信号のリストから希望の信号を選択するには、Test Signal キーを繰り返し押し、Test Signal キーを 1 度押し、▲ および ▼ キーを使用してリストをスクロールします。テスト信号は選択されると直ちに出力されます。

本機器が通常のアベレーティング・モードでメニューが表示されていない場合、文字キーを使用して信号を直接選択できます。本機器が備えているテスト信号とそれに対応するキーを以下に示します。

テスト信号	直接選択キー
75 % カラー・バー	A
100 % カラー・バー	B
Pluge 1 (BBC 1)	C
Pluge 2 (BBC 2)	D
5 ステップ階段波	E
リミット・ランプ	F
シャロー・ランプ	G
変調 5 ステップ	H
変調パルス & バー	I
マーカ付き 60 % ライン・スイープ	J
ボウタイ	K
コンバーゼンス	L
イコライザ SDI チェック・フィールド	M
PLL SDI チェック・フィールド	N
マトリクス SDI チェック・フィールド	O
アクティブ・ピクチャ・マーカ	P

## インストラクション・シート

## TSG601型

シリアル・デジタル・  
ゼネレータ

P/N 070-A413-50

**ID/サイクル・コントロール**

**ID On/Off**  
ID メッセージ(または ID サイクル) をオン/オフ。

**Shift ID Menu ID On/Off**  
ID メニューに入る (このメニューから ID メッセージのリコール、編集および移動、ID サイクルのセットアップおよびコントロールができます)。

**信号/オプション選択**

**Test Signal**  
テスト信号を選択する (繰返して押すことにより、信号のリストをスクロールさせ選択)。

**Shift Option Menu Test Signal**  
(現在の本機器には Option Menu 機能はありません。)

**CRCコントロール**

**CRC On/Off**  
CRC データを含む補助のデータ・パケットの挿入をオン/オフ。

**Shift CRC Menu CRC On/Off**  
CRC オプションを選択するための CRC メニューに入る。

**シフト/シフト・ロック**

**Shift**  
次に押すキーのみシフト (シフト機能は黄色の文字で表示されています)。

**Shift Shift Lock**  
以降に押す全てのキーをシフト。

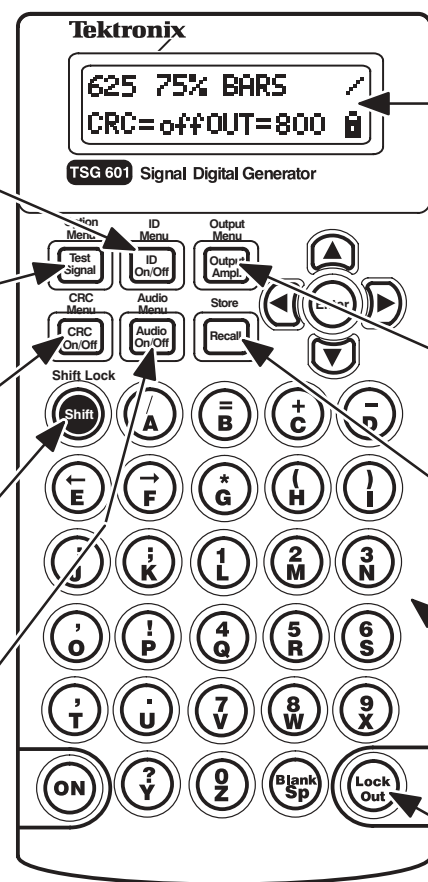
**オーディオ出力**

**Audio On/Off**  
現在の本機器にはオーディオ出力機能はないので、このキーは使用しません。

**Shift Audio Menu Audio On/Off**

**警告**

機器の使用方法を誤ると、人体に危害や機器に損傷を及ぼす恐れがあります。本機器をご使用になる前に、ユーザ・マニュアルの「General Safety Summary」および「Getting Started」の項をご覧ください。



**表示シンボル**

**↻** = オート・パワー・ダウンがイネーブルの状態 (シンボルは回転)。診断メニューからディスエーブルにすることができます (Lock Out キーを押しながら ON キーを押すと診断メニューに入れます)。

**T** = 信号経路のターミネーションが不適當

**S** = シフト (再度 Shift キーを押すとシフト・ロック)

**S L** = シフト・ロック (再度 Shift キーを押すと解除)

**🔒** = キー・ボードがロック・アウト状態 (再度 Lock Out キーを押すと解除)

**📍** = ブランク ID の位置

**出力特性**

**Output Ampl.**  
出力振幅 (600 ~ 1000 mV) の設定。

**Shift Output Menu Output Ampl.**  
出力チャンネル (Y, Cr, Cb) のオン/オフ、サンプル分解能 (8 または 10 ビット) の選択。

**ストア/リコール**

**Recall**  
ID メッセージやユーザ・プリセットのリコールに使用。

**Shift Store Recall**  
ID メッセージやユーザ・プリセットのストアに使用。

**信号の直接選択**

文字キーを使用すると信号を直接選択することができます (裏面を参照)。

**キーボード・ロック・アウト**

**Lock Out**  
キーボードからの入力をロック・アウトする (ロック・アウト時には Lock Out および ON キーのみ有効)。